

獣医師の目
【肉牛】宮本 翔也

鉄剤と抗酸化剤を同時

投与

黒毛和種子牛の貧血

黒毛和種子牛は貧血になりやすいことが知られています。貧血とは、赤血球中のヘモグロビン量が不足することにより、十分な酸素を全身に届けられなくなった状態を指します。

黒毛和種子牛が貧血になりやすい原因としては①黒毛和種は出生後の増体率がホルスタイン種よりも高く、赤血球の産生が追い付かないこと②胎子の赤血球の寿命は通常の赤血球に比べて短いこと③初乳中の鉄含量が子牛の必要量よりも低いこと：などが挙げられます。これらの要因により子牛が貧血を引き起こすと、免疫機能が低下したり、エネルギー代謝が減退したりします。つまり、貧血によって下痢や肺炎を起こしやすくなり、発育に影響を与える可能性があります。

貧血対策の一つとして、鉄

の補給があります。鉄はヘモグロビンの重要な材料だからです。ただし、鉄を経口投与する場合、腸管の中には鉄を利用して活性化する病原菌も存在するので、注意が必要です。また、鉄には酸化作用があり、体内に酸化ストレスを与えます。これを防ぐために鉄剤はビタミンEなどの抗酸化剤と同時に投与しましょう。

（N O S A I岡山 北部基幹家畜診療所技師）



鉄剤（写真上）とビタミンE